

14. 高知県看護協会との連携－生涯学習の拠点としての役割

1) 看護協会役員および委員

本学の教員は高知県看護協会の役員および委員の役割を担っており、高知県の看護の質を高めるために各分野において活動を行ってきた。令和5年度は13名の教員が以下の委員を担当した（表1参照）。

表1 高知県看護協会役員・委員・受託事業担当者

役員・委員名	教員名
高知県ナースセンター運営協議会 委員	藤田 佐和
第1副会長	森下 安子
常任委員会：研究学会委員会 理事	
常任委員会：認定看護管理者教育運営委員会 理事	
特別委員会：地域包括ケア検討委員会 理事・委員	
受託事業に係る検討会：在宅領域看護検討会 委員	
常任委員会：災害看護委員会 委員	竹崎 久美子
受託事業に係る検討会：新人看護職員研修検討会 委員	長戸 和子
受託事業に係る検討会：保健師助産師看護師実習指導者講習検討会 委員	池添 志乃
常任委員会：認定看護管理者教育運営委員会 委員	内川 洋子
職能委員会：助産師 理事・委員長	嶋岡 暢希
特別委員会：3職能生きる力を育むいのちの教育検討委員会 理事・委員	
特別委員会：地域包括ケア検討委員会 委員	
受託事業に係る検討会：高知県小児救急電話相談事業 委員	高谷 恭子
特別委員会：訪看ST運営委員会 委員	森下 幸子
特別委員会：看護研究倫理審査委員会 委員	岩崎 順子
職能委員会：保健師職能委員会 委員	川本 美香
特別委員会：研究学会委員会 委員	高橋 真紀子
特別委員会：3職能生きる力を育むいのちの教育検討委員会 委員	徳岡 麻由

2) 研修および講習会

(1) 認定看護管理者研修

本年度はファーストレベル研修が開催された。本学からは以下の4名の教員が講師として参加した（表2参照）。

表2 認定看護管理者研修担当者

科目	時間数	教員名
ヘルスケアシステム論Ⅰ「保健医療福祉サービスの提供体制」 「ヘルスケアサービスにおける看護の役割」	9	森下 安子
人材管理Ⅰ「看護チームのマネジメント」	6	内川 洋子
組織管理論Ⅰ「看護実践における倫理」	6	豊田 邦江
「レポートの書き方」	3	山中 福子

(2) 高知県保健師助産師看護師実習指導者講習会：臨床実習指導者講習会

看護教育における実習の意義ならびに実習指導者としての役割を理解し、効果的な実習指導ができるように必要な知識、技術を習得することを目的に開催された。11名の教員が講師として参加した（表3参照）。

表3 高知県保健師助産師看護師実習指導者講習担当者

科目	時間数	教員名
看護倫理（概論）	3時間	藤代 知美
看護倫理（演習）	3時間	有田 直子
セルフケア理論	3時間	中井 有里
看護論	3時間	池添 志乃
家族ケア	3時間	長戸 和子
ヘルスプロモーション	3時間	小澤 若菜
母性看護学	3時間	渡邊 聡子
小児看護学	3時間	高谷 恭子
精神看護学	3時間	田井 雅子
在宅看護学	3時間	川上 理子
老年看護学	3時間	竹崎 久美子

(3) 臨床看護研究基礎研修

本研修は、臨床における看護研究の必要性を理解し、看護研究に取り組むための基礎知識を習得することを目的に、集合研修で開催された。5名の教員が講師として参加した（表4参照）。

表4 臨床看護研究基礎研修担当者

研修名	時間数	教員名
看護研究の基礎知識	6時間	畦地 博子 高谷 恭子
研究計画の進め方	3時間	池添 志乃
看護研究における倫理的配慮	3時間	瓜生 浩子
看護研究論文（症例研究を含む）の書き方と発表	3時間	田井 雅子

(4) 高知県看護協会の教育プログラムにおける講師

高知県看護協会が主催する看護職員現任者を対象とした教育プログラムにおいて、5名の教員が講師として参加した（表5参照）。

表 5 現任者を対象とした教育プログラム担当者

研修名／内容	時間数	教員名
新人助産師合同研修プログラム／助産師として災害に備える①②	5 時	渡邊 聡子
高知県医療的ケア児等支援者養成研修・医療的ケア児等コーディネーター養成研修プログラム／総論：医療的ケア児等の地域生活を支える医療的ケア児等のコーディネーターに求められる資質と役割、支援に必要な概念	1.5 時間	佐東 美緒
新人助産師合同研修プログラム／職業倫理	2 時間	嶋岡 暢希
医療現場に活かすプレゼンテーションのコツ～相手に伝えるセンスを磨く～	5 時間	池内 香
多施設合同研修／メンタルヘルス	6 時間	中井 有里

(5) 地域災害支援ナース育成研修

高知県看護協会の地域災害支援ナース育成研修は、令和 5 年度で 11 年目となる。5 月には新型コロナウイルス感染症が 5 類に変更となったため、本年度は対面開催に戻った。

【基礎編】

- ・ 1 回目 主催：高知西地区支部・高知北地区支部（高知県看護協会）
開催日時：令和 5 年 8 月 11 日（金）9:00～12:00 受講者 23 名
- ・ 2 回目 主催：須崎・窪川・吾川・佐川地区支部（須崎市立市民文化会館）
開催日時：令和 5 年 10 月 21 日（土）9:00～12:00 受講者 26 名
- ・ 3 回目 主催：幡多地区支部（四万十市立市民病院）
開催日時：令和 5 年 11 月 12 日（日）9:00～12:00 受講者 21 名

【実務編】

実務編については令和 5 年度は 2 回、対面で行われた。第 2 回は支部の DMAT チームにより、医療トリアージについて自主開催されている。

第 1 回は、本学と高知医療センターとで「避難所における看護師の役割」について開催し、52 名の参加者を得た。医療トリアージに留まらず、今後も「避難所における看護師の役割」に関する実務編を推進していく予定である。

- ・ 1 回目 主催：高知東・南地区支部（高知県看護協会）
開催日時：令和 5 年 9 月 23 日（土）9:00～12:00 受講者 52 名
内容：災害看護に関する最新情報と避難所での災害支援活動
- ・ 2 回目 主催：東部 1・2 地区（高知県立あき総合病院）
開催日時：令和 5 年 11 月 30 日（木）9:00～12:00 受講者 24 名
内容：災害看護に関する最新情報と避難所での災害支援活動

【受援ガイドライン研修】

実際に外部からの応援をどのように受け入れるかについて作成した看護職の災害支援に対する「受援ガイドライン」について、内容の周知を行う研修も開催した。この研修については今後、本研修を動画録画したものを DVD にして県下に貸し出し、県下の病院や支部において内容共有をはかることになっている。次年度は、その活用状況について評価していく必要がある。

- ・ 主催：高知西地区支部・高知北地区支部（高知県看護協会）
開催日時：令和 5 年 8 月 11 日（金）13:00～14:00 受講者 対面 14 名 オンライン 5 名

【全国版災害支援ナースの新規研修】

新型コロナウイルス感染症の発生により、2022 年 12 月に「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律等の一部を改正する法律」（令和 4 年法律第 96 号）が制定された。これにより、感染症の発生・まん延時における国による広域での医療人材派遣の仕組みや、派遣される医療人材の養成・登録等の仕組みなどが法制化され、DMAT・DPAT と並び、日本看護協会および都道府県看護協会による災害支援ナースの応援派遣も、令和 6 年度からはこの法の下に派遣が行なわれることとなった。

これまで全国版の災害支援ナースは、主に自然災害や大規模事故などを想定した日本看護協会独自の研修プログラムをオンデマンドで配信し（2 日間）、受講することで資格を認めていた。しかし今後は、日本看護協会で作成された感染症対策を含むオンデマンド講習を受講した後（4 日間）、集合研修による実技演習（2 日間）を、各都道府県看護協会で開催することとなった。高知県看護協会も、高知大学医学部附属病院医療人育成センターに新しく発足した感染管理認定看護師教育課程の教員と協力して、実技演習を開始している。

厚生労働省から期待されている災害支援ナースの役割には、急性期医療機関の専門病棟への応援派遣に耐えうる知識や実技が強調される傾向にあった。しかし本学が中心となってこれまで「地域災害支援ナース育成研修」において普及に力を入れてきた災害時の看護の役割として、避難所などの住民の生活空間での感染防止対策や、急性期病院に限らず、高齢者の生活施設においても感染防止の看護の力が必要とされるということであった。2 日間の実技演習の冒頭で、このことについても啓発する時間を 30 分ほどもらうことができ、講演を行った。